

■日本薬局学会、合格率は67% PHARMACY NEWSBREAK 2016年11月14日掲載
【許諾番号 20161116_01】株式会社じほうが記事利用を許諾しています。

認知症研修認定薬剤師の第1回試験に60人合格

日本薬局学会は11日、第10回日本薬局学会学術総会に合わせて10月に実施した「認知症研修認定薬剤師制度」の第1回認定試験の合格者を発表した。90人の受験者のうち60人が合格し、合格率は約67%となった。認定申請者には、認知症研修認定薬剤師であることを示すバッジや証書、薬局に貼れるステッカーを付与する。

政府が2015年に公表した「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」では、薬剤師の認知症対応力の向上が明記された。同学会では同年、認知症研修認定薬剤師制度を設立し、医薬品に関わる専門的立場から認知症領域で活躍できる薬剤師の養成を進めてきた。

第1回試験では、2回のワークショップ（基礎編と応用編）と20単位のe-ラーニングを終了し、症例の査読に合格した90人が筆記試験と面接試験を受験。このうち60人が合格した。

●第2回試験は来年、大宮で

第2回認定試験は、来年11月25、26の両日に、さいたま市の大宮ソニックシティで開かれる学術総会に合わせて実施される。

■JACDS・宗像事務総長

次世代DgSビジョン、キーワードは「生活者満足」

日本チェーンドラッグストア協会（JACDS）の宗像守事務総長は11日の定例記者会見で、現在、策定作業を進めている「次世代ドラッグストアビジョン」について、生活者満足がキーワードになるとの方針を示した。

ビジョンには、次世代のドラッグストアが提供するサービスや施設、設備などが盛り込まれる予定。宗像事務総長は「やるかやらないかはそれぞれの企業の判断だが、これからはお客が喜ぶことができるところが勝ち組になる」と指摘。「（これまでドラッグストアが提供してきた）安さと便利さは役割を終える。（宅配業者に）配達してもらうよりも（ドラッグストアで購入する方が）いいよね、という満足をつくらなければいけない」と述べた。

その上で、「コストや労力がかかってやりたくないこともやっていかないといけない」と強調し、ドラッグストアの次の役割は生活者満足を創出することだとの考えを示した。ビジョンは来年の早い段階にまとめた考え。